

～ 浜松市（和地・庄内・伊佐見・萩丘（花川町）地区）版 ～ ④

手順④ 巨大地震が発生した時の災害リスクを確認する



地震

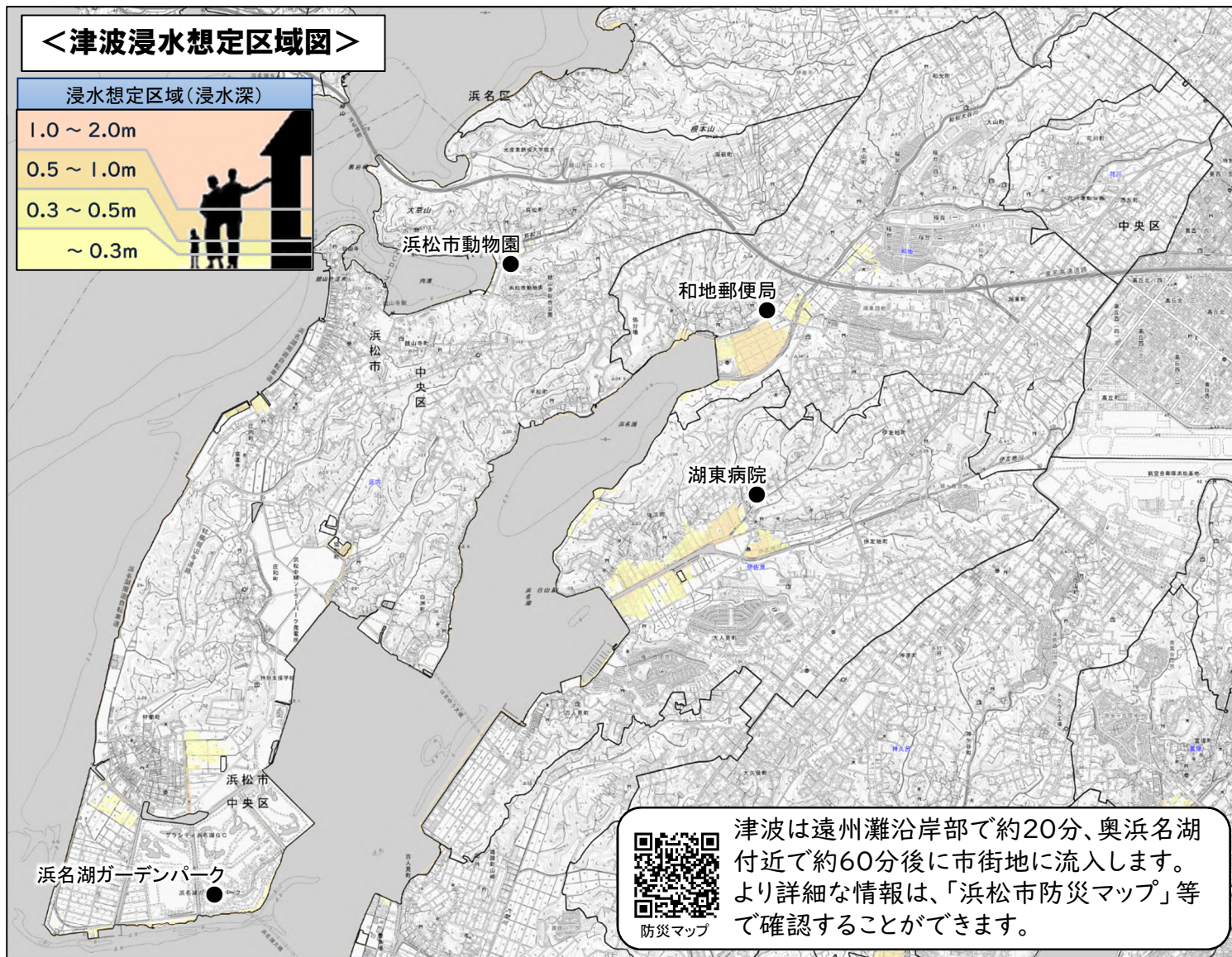
巨大地震の時には最大で「震度7」の揺れが来ます。



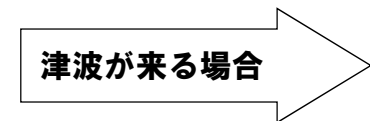
津波

- ・自宅に、津波が「来るのか」、「来ないのか」
- ・自宅にこない場合は、市内でどこまで津波が来るのか
- ・揺れてからどれくらいで津波が来るのか

を「津波浸水想定区域図」で
確認しましょう。

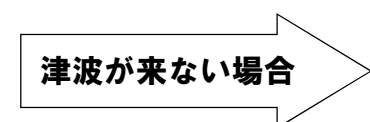


手順⑤ 「避難のタイミング」、「避難先」を確認し、記入する



津波が到達するまでに、たどり着くことができる「避難先※」に避難します。

- **到達時間** と **避難先** を、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



自宅が危険な場合は、あらかじめ決めておいた「避難先※」に避難します。

- 避難先（集合場所）を、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

※緊急避難場所、津波避難ビル等が分からない場合は、「浜松市防災マップ」等で確認しましょう。

目次

大雨の時 (河川氾濫の危険・ 土砂災害の危険)

手順① 避難に時間がかかる人がいるか確認する 1ページ

手順② 自宅の災害リスクを確認し、記入する 2ページ

手順③ 「避難のタイミング」、「避難先」、「情報収集手段」を確認し、記入する 3ページ



巨大地震



津波が発生したら・・・

手順④ 巨大地震が発生した時の災害リスクを確認する 4ページ

手順⑤ 「避難のタイミング」、「避難先」を確認し、記入する …………… 4ページ

「わたしの避難計画」見本

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に
貼っておくのじゃ!

大雨の時

土砂災害のおそれが ☒ ある・☐ ない

河川氾濫のおそれが ☐ ある・☒ ない

【手順②-①】

●避難のタイミング

高齢者等避難

が発令されたら

●避難先

叔母さんの家

【手順②-②】

●情報収集手段

(選んだ手段に☑をつけましょう)

☐ 浜松市公式LINE
☐ 浜松市防災ホットとメール
☐ 同報無線(屋外スピーカー—戸別受信機)
☐ その他

巨大地震の時

【手順③】

自宅に津波が来る地域

●避難のタイミング

強い揺れが収まったらすぐに

または

強い揺れを感じなくても
「津波注意報」や「津波警報」
「大津波警報」が発令されたら

自宅に津波が来ない地域

●避難のタイミング

自宅が傾いたり、壁や天井に大きな
亀裂が入ったりして危険な場合など、
自宅が危険な時

●避難先(集合場所)

指定避難所(浜松小学校)

地震発生から

15 分以内に

キキカンリビル に到着する

※ 大雨の時のより詳しい避難計画を作るときは、「マイタイムライン(自分の命は自分で守る)」を作ります。

メモ欄

～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

大雨の時

【手順①】

●避難に時間がかかる人がいるか

☒ いる (2 人)
☐ いない

●避難に支援が必要か

☐ 必要
 支援してもらう人: さん
☒ 必要ない

【手順②】

土砂災害による危険を確認

いずれかに1つに☑をつけましょう

☐ 土砂災害のおそれがある

—該当する区域に☑をつけよう—

☐ 土砂災害警戒区域
☐ 土砂災害特別警戒区域

☒ 危険なし

河川氾濫による危険を確認

いずれかに1つに☑をつけましょう

☐ 家屋倒壊のおそれがある

☒ 家屋倒壊のおそれはないが、
浸水のおそれがある

—該当する浸水深に☑をつけよう—

☐ 5.0～10m	2階の屋根以上 が浸水する
☐ 3.0～5.0m	2階部分まで 浸水する程度
☒ 0.5～3.0m	1階天井まで 浸水する程度
☐ 0.0～0.5m	2分の1の深さまで が浸水する

☐ 危険なし

いざという時には、
落ち着いて情報を
確認し、行動するのじゃ!

自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

避難所へ行くときは

- ・くすりを忘れずに持っていく
- ・東京のおじさんの電話番号は 03-123-4567
- ・げた箱の持ち出し袋を持っていく

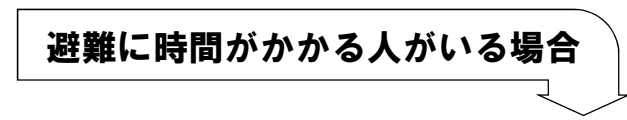
災害に備え、1週間分の水、食料
生活必需品の備蓄をしましょう。

令和6年12月作成
浜松市危機管理課

ガイドに沿ってこれをつくっていくのじゃ!



手順① 避難に時間がかかる人がいるか確認する



- ・避難するタイミングは「高齢者等避難」となります。
- ・避難に「支援が必要な方」は、支援してもらう方を決めてお願いしておきましょう。

- 確認した内容を「わたしの避難計画のメモ欄」に記入しましょう。

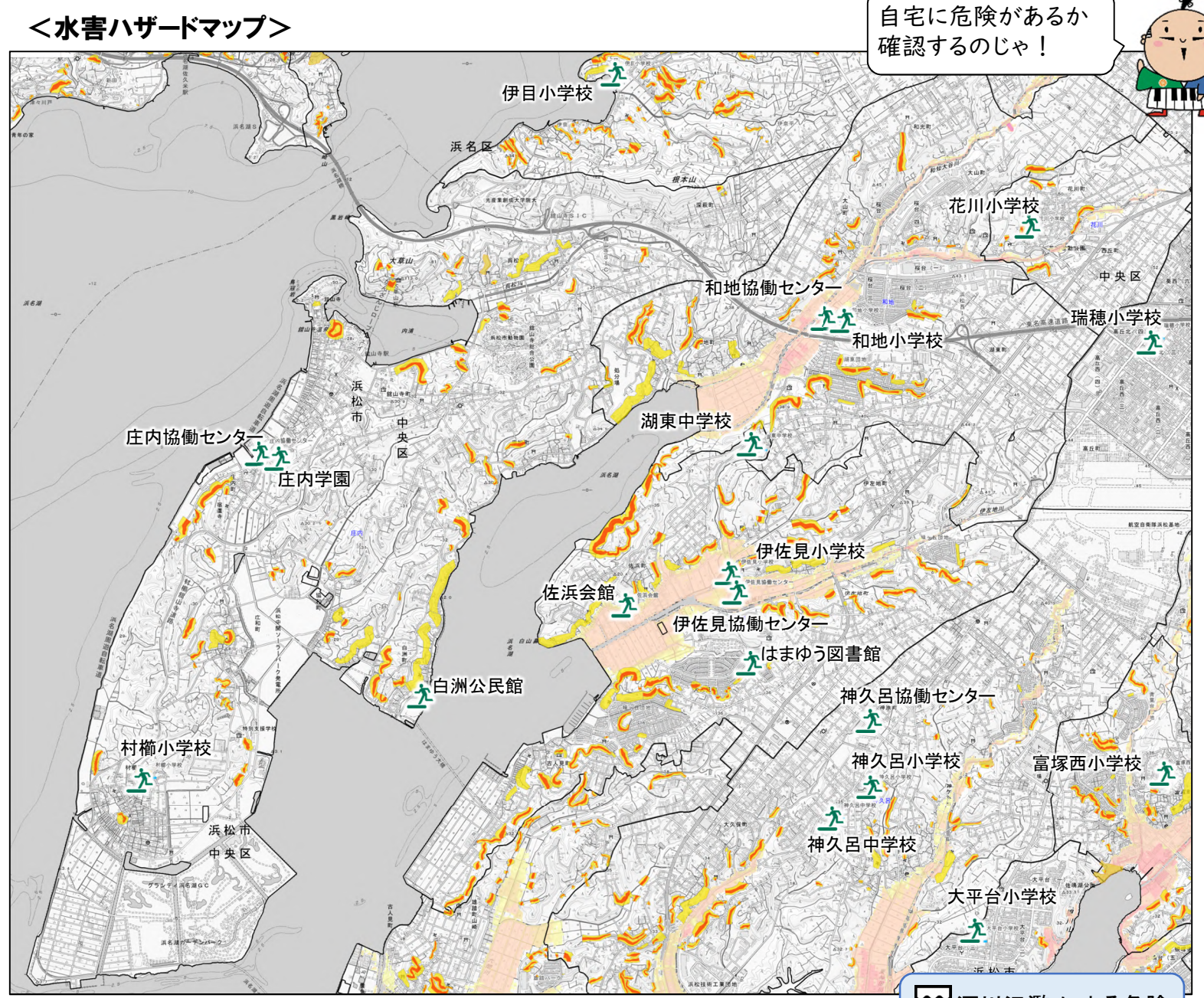


パソコンやスマホでも、
作成できます。(オススメ!)



手順② 自宅の災害リスクを確認し、記入する

➤ 下のハザードマップで、家屋倒壊や浸水、土砂災害のおそれがある地区に住んでいるかを確認し、「わたしの避難計画のメモ欄」に記入しましょう。



凡例

 指定緊急避難場所
(大雨・台風等)

 土砂災害 による危険

上段：特別警戒区域
下段：警戒区域

	
	
	
急傾斜地 の崩壊	土石流
	地すべり

 河川氾濫 による危険

家屋倒壊のおそれのある区域

	
氾濫流 によるもの	河岸浸食 によるもの

浸水想定区域(浸水深)

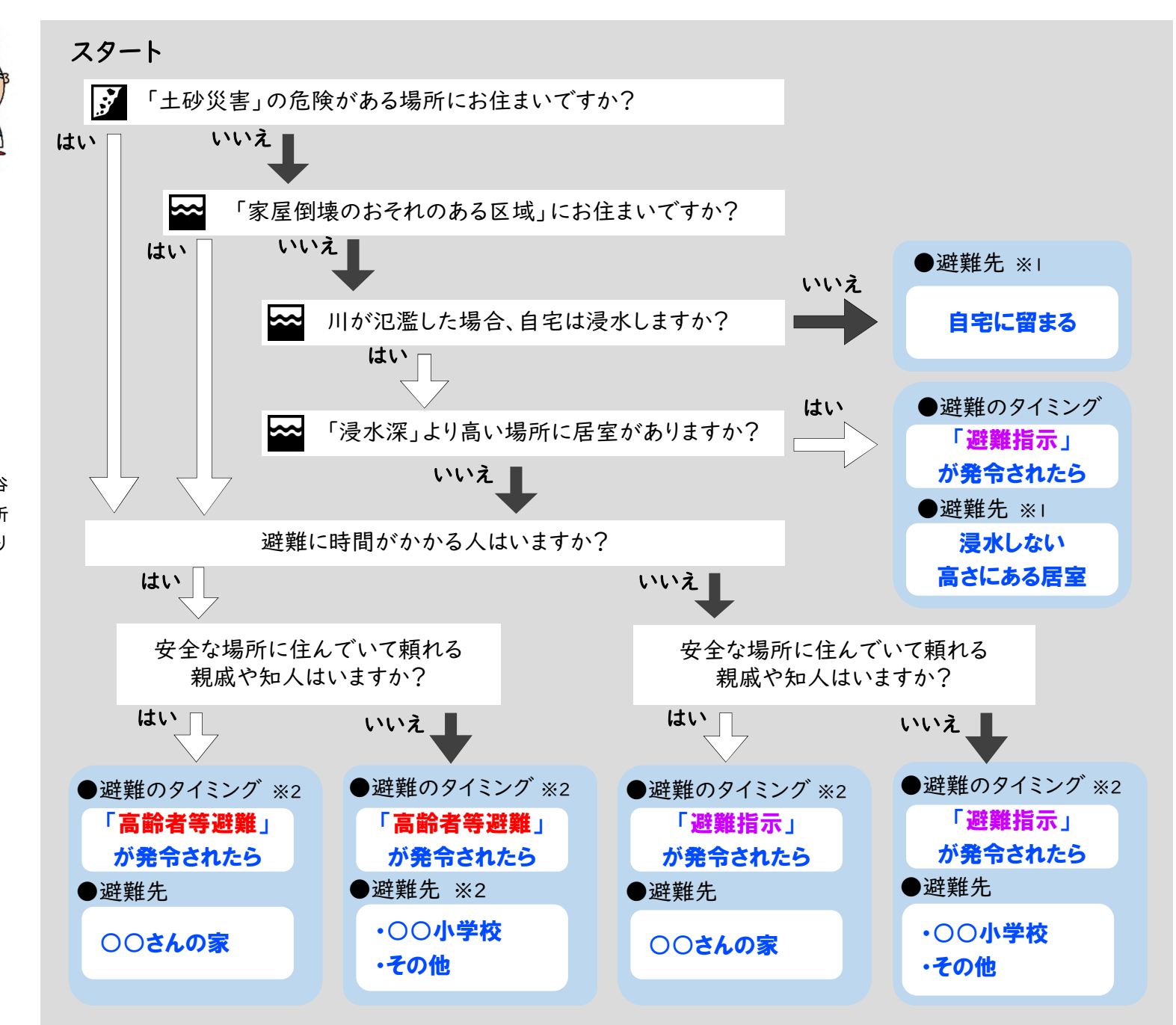
10m～	
5.0～10m	2階の屋根以上 が浸水する
3.0～5.0m	2階部分まで 浸水する程度
0.5～3.0m	1階天井まで 浸水する程度
0.0～0.5m	大人の膝まで つかる程度



より詳細な情報や、その他の災害に関する情報は「浜松市防災マップ」で見ることができます。

手順③ 「避難のタイミング」、「避難先」、「情報収集手段」を確認し、記入する

⑦ 矢印をたどって、避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



※1 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などの備蓄を準備しておこう！
※2 避難する際は、安全に避難できるように避難しよう！

⑧ 「情報収集手段」を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

【避難情報や避難所の開設状況】

 LINE公式アカウント
しやんべえ 情報局

 防災メール

・同報無線
(屋外スピーカー、戸別受信機)

・テレビ  ボタン

・ラジオ
(FM Haro!)

【気象情報や河川水位情報】

 川や気象
防災情報なら
ここ!! 

 気象庁キキクル
Japan Meteorological Agency